

2. 新・宮城の将来ビジョンの実現に向けた取組（農業農村整備事業関係）

新・宮城の将来ビジョン

- ◆ 県では、令和2年度で終期を迎えた「宮城の将来ビジョン」、「宮城県震災復興計画」及び「宮城県地方創生総合戦略」の後継計画として、令和3年度を始期とする「新・宮城の将来ビジョン」を策定しました。
計画期間が10か年である本ビジョンは、3～4年を期間とする実施計画を別途定め、具体的取組（推進事業）や数値目標を示した上で確実に実施していくとともに行政評価システムにより事業の有効性や効率性などを検証しながら推進していきます。

①被災地の復興完了に向けたきめ細やかなサポート

体系・基本方向・取組名	農業農村整備関係事業名
取組分野3 福島第一原発事故被害への対応	鳥獣害防止対策事業

②政策推進の基本方向

体系・基本方向・取組名	農業農村整備関係事業名
1. 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進	
(1) 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる	
2 宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	むらまち交流拡大推進事業
3 地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	農地整備事業
(2) 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	
4 時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	農業経営高度化支援事業
4. 強靱で自然と調和した県土づくり	
(7) 自然と人間が共存共栄する社会をつくる	
15 環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	小水力等農村地域資源利活用促進事業
16 豊かな自然と共生・調和する社会の構築	令和のむらづくり推進事業 地域資源・キャリア人材フル活用事業 みやぎの地域資源保全活用支援事業 多面的機能支払事業 田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業 防災重点ため池管理対策強化支援事業 宮城県ため池サポートセンター事業
(8) 世代を超えて安全で信頼のある強くしなやかな県土をつくる	
17 大規模化・多様化する災害への対策の強化	水利施設整備事業 農地防災事業
18 生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実	中山間地域等直接支払交付金事業 県営農道整備事業（通作条件整備） 県営造成施設管理体制整備促進事業 土地改良施設機能診断事業

「次代に向けて田水郷をつなぐ みやぎの農業・農村」

農業・農村を取り巻く情勢・課題

- 『みやぎ食と農の県民条例』で掲げる4つの目標
- 安全で安心な食料の安定供給
 - 農業の持続的発展
 - 多面的機能の発揮
 - 農村の総合的な振興

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画(R3~R12)における主要目標
 農業産出額:1,939億円(H30) ⇒ **2,288億円(R12)**
 農地面積:126,300ha(R1) ⇒ **122,175ha(R12)**

○全国トツクラスの大区画水田整備率

東北6県における水田整備率(R2)

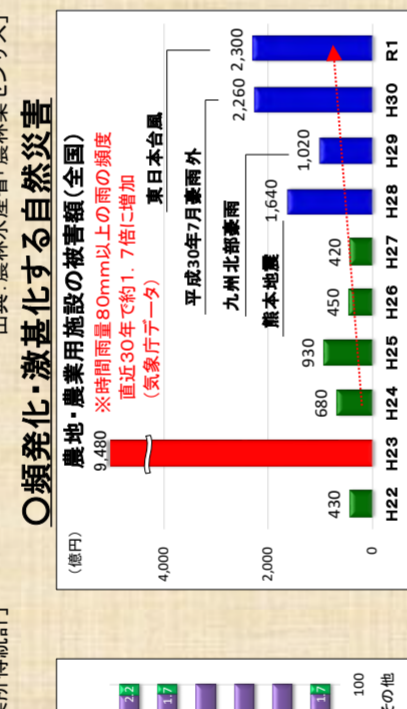
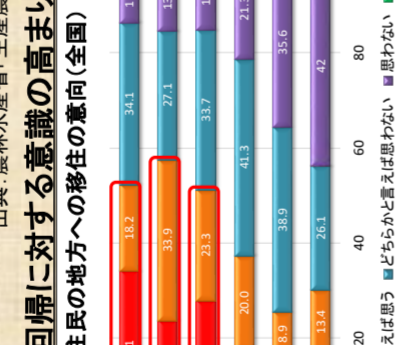
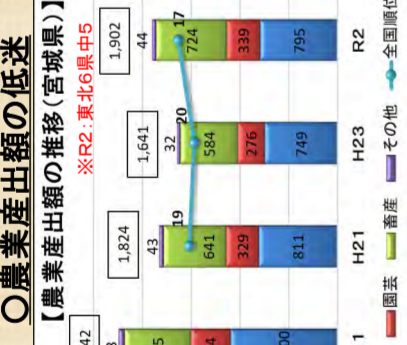
水田整備率	うち大区画整備率			
30ha以上	全国順位			
青森県	67.1%	16	5.8%	21
岩手県	53.0%	29	11.0%	9
宮城県	69.8%	12	30.6%	1
秋田県	68.8%	13	25.0%	3
山形県	77.7%	7	4.1%	31
福島県	73.5%	8	7.0%	18

農業・農村の将来像

地域経済を支える農業



関係人口や移住希望者を選ばれる農村



重点推進プロジェクト(R3~R7)

収益力向上に向けた基盤整備プロジェクト

◆農地の大区画化のほか、地域の特性を活かした収益性の高い作物の導入に向けた**水田の汎用化を推進**します。
 (具体的取組内容)
 ・地域振興作物等を中心とした作付計画策定を推進
 ・栽培作物を考慮した地下かんがいシステム等の導入
 ・中山間地域における豊地耕作条件の改善を推進

推進指標	令和5年(基準年)	令和4年	令和3年
大区画化水田整備面積 [ha]	35,397	36,257	37,500
汎用化水田の面積 [ha]	78,787	79,708	81,100
野菜等の高収益作物を導入する新規地区数 [地区]	4	18	30

農地の大区画化
 水田の汎用化

令和5年度主要事業

(★…R5新規事業)

※事業費には事務費を含む (単位:千円)

◆競争力のある農業の実現に向けて、担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備を推進します。また、野菜等の高収益作物の導入による収益性の向上を目指し、水田の汎用化を進めます。

令和5年度 農地整備実施地区数 45地区(区画整理A=30.1ha)

◆農業農村整備事業を計画的に推進するため、事業管理計画に基づき、事業計画の調査・策定に取り組みます。(防災事業含む)

令和5年度 調査計画地区数 38地区(うち新規12地区)

- ・農地耕作条件改善事業【**なり**】 153,119
- ・農業農村整備事業実施計画策定費【**村振**】 192,420
- ・農営ほ場整備事業調査【**村振**】 16,800
- ・農地整備事業【**村整**】 7,353,209
- ・水利施設整備事業【**村整**】 1,481,502
- ・基幹水利施設管理事業【**村整**】 334,729

令和5年9月
 農山漁村なりわい課
 農村振興課
 農村整備課
 農村防災対策室

地域と関わりを持つ関係人口の創出プロジェクト

◆農山漁村交流拡大プラットフォームにより、ビジネスを展開したい**農林漁業者や団体**、さらに**県内外の企業や個人とのネットワークを構築し、新たな関係人口を創出**します。
 (具体的取組内容)
 ・新たな農村ビジネスの創出などの持続可能な地域づくりに繋がる活動を支援
 ・履農ボランティアや郷土芸能・郷土食継承活動を支援

推進指標	令和5年(基準年)	令和4年	令和3年
農山漁村交流拡大取り組み組んだ企業・団体数(団体)	—	70	55
都市と農村の交流活動に参加した人数 [人]	284	394	320

都市農村交流フィールドワーク
 大学生との交流活動

◆農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農の継続等に対して支援を行います。

令和5年度 日本型直接支払取組予定面積 A=75,630ha

◆農山漁村地域が自ら課題を解決し協働する課題解決型・協働型地域コミュニケーションに変革する土台作り、大学生などの多様な人材による地域づくり、農村の暮らしや仕事を体験し地域との関わりを深める関係づくりを支援します。

◆防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策として、早急に対策が必要な防災重点農業用ため池等について、安全性を確保するための対策に取り組みます。

令和5年度 防災重点農業用ため池整備 6地区
 防災重点農業用ため池調査 55か所
 (劣化状況評価 2か所、地震震害耐性評価 53か所)

◆洪水被害を緩和する「田んぼダム」の取組を拡大するため、取組実施地区における効果検証を継続し、効果の見える化を進めていきます。

- ・農村整備事業【**なり**】 207,093
- ・田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業【**農村**】 5,000
- ・用排水施設等整備事業【**農防**】 400,260
- ・防災重点農業用ため池緊急整備事業【**農防**】 333,825
- ・緊急浸没推進事業【**農防**】 210,000
- ★農業水利施設危機管理対策事業【**農防**】 146,755

◆令和4年7月15日からの大雨による災害の早期復旧等に取り組みます。

- ・農地災害復旧費【**農防**】 6,242
- ・施設災害復旧費【**農防**】 564,843
- ・農営災害復旧費【**農防**】 2,132,313

第3期みやぎ農業農村整備基本計画(R3~R12)における施策の推進方向

基本項目Ⅰ 人口減少下で持続的に発展する農業の振興(儲ける農業)

- 施策1 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化
 ① アグリテックの推進に向けた基盤整備
 ② 時代のニーズに対応した農業技術の確立と現地普及
- 施策2 基盤整備と集積・集約化による農地利用の高度化
 ① 農業の成長産業化に向けた農業基盤整備
 ② 中山間地域等における農業生産の効率化と優良農地の確保
 ③ 担い手への農地集積・集約化の推進
 ④ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(農業用水の安定供給)

基本項目Ⅱ 多様な主体が活躍できる農村の構築(活力ある農村)

- 施策4 関係人口と共に創る活力ある農村
 ① 農村を支える人材育成と体制整備
 ② 交流拡大による関係人口の創出
 ③ 農村におけるデジタルトランスフォーメーションの推進
- 施策5 地域資源を活用した多様ななりわいの創出
 ① 地域資源の掘り起こしと磨き上げ
 ② 地域運営組織等による地域資源を活用したなりわいの創出
 ③ 「地消地産」による地域経済循環の構築
- 施策6 環境と調和した持続可能な農業・農村づくり
 ① 農村の地域資源保全活動の推進による多面的機能の維持・発揮
 ② 土地改良区の体制強化
 ③ 野生鳥獣による農作物被害対策の強化とジビエ利活用の拡大

基本項目Ⅲ 自然災害にに対応した農村地域の防災・減災対策の強化(強靱な農業・農村)

- 施策7 農業・農村の強靱化による地域防災力の強化
 ① 農村の防災機能の充実
 ② 田んぼダム等農村地域の有する洪水調節機能の効果的な発揮
- ③ 農業水利施設等のストックマネジメントの推進(排水機能の維持・保全)
 ④ 農村地域の生活環境の維持

農村の暮らしを守る防災・減災対策プロジェクト

◆農村地域の安全・安心な暮らしを守るため、**防災重点農業用ため池に係る防災対策を推進**するほか、**田んぼダム**に取り組みます。
 (具体的取組内容)
 ・ため池サポートセンターを設置し、適切な保全管理を支援
 ・ため池の安全性について調査調査を実施し優先度の高いため池から対策工事を実施

推進指標	令和5年(基準年)	令和4年	令和3年
地震・豪雨対策に取り組み防災重点農業用ため池の数(箇所)	—	8	9
田んぼダムを導入した面積 [ha]	26	230	330

田んぼダム対応排水樹・堰板
 防災重点農業用ため池の対策



◆令和4年7月15日からの大雨による災害の早期復旧等に取り組みます。

- ・農地災害復旧費【**農防**】 6,242
- ・施設災害復旧費【**農防**】 564,843
- ・農営災害復旧費【**農防**】 2,132,313